



100日になるアサガオだからね



種を蒔いてから11月9日（金）で、ちょうど100日を迎えたアサガオ。子どもたちは、緑から赤や黄に色づく葉や、咲く花の数がだんだん減っている様子から、「終わり」を感じているようです。アサガオ日記にも秋のアサガオを感じている様子がありました。



朝学校に来ると、「あっ咲いてる！」とアサガオに駆け寄る子どもたち。アサガオの大きな花が毎日子どもたちを待っていてくれました。毎日毎日、咲き続けるアサガオを見て、「アサガオっていつ花を咲かせているんだろう」と不思議に感じていました。夜にかけてゆっくりとひらくアサガオの花。子どもたちは開花の様子を動画で見ると、「花火みたいだあ！」「すごおい！きれい！」と、アサガオの華やかさを感じているようでした。

根っこがどうなっているのかみたい



100日目を迎えた日、Aさんがクラスの仲間に投げかけました。「あのね、100日前の小さなあの根っこが、どんなふうに大きくなっているのか見てみたい」それを聞いたBさんは、「ぼくはやだ。ぜったいやだ。まだ終わってないんだよ。根っこを見たら枯れちゃうかもしれないじゃん」と正直な思いを伝えます。Cさんは、「でもさ、Aさんは、根っこがどうなっているのか、もしかしたら病気になっているかもしれないじゃん。だからわたしは根っこを見たいとAさんは思ったんじゃない」とAさんの言葉を受け止めました。なぜ、Aさんがアサガオの根を見たいと思ったのか聞くと、「だってさ、はじめ一本だった根っこが100日経って、どうなっているのかなあって気になったから。中を見てみたい。小さかった100日前のあの根っこが、どんな風に大きくなっているのかみてみたい。一本だったのが百本とか千本とかになっているかもしれないから」とAさん。「ああ確かに」「私も気になる」と子どもたちからつぶやきが聞こえてきました。

これがアサガオ



そして、担任が育てていたアサガオの根を観察することになりました。鉢から持ち上げた時に見えたあの「根の渦」。水の中で土を取り除くとさらに見えた「真っ白い根のかたまり」。私も初めて見るアサガオの根。その迫力。子どもたちとここで見るのができて本当によかったと思いました。根を見ながら、「やっぱり、アサガオへのプレゼントには“水”だね。」「先生、分かった。アサガオの根は木と一緒に、大きい根から広がるように生えてくるんだよ」「アサガオは宝箱だな」とロ々に語るアサガオ言葉に、また、アサガオから教えてもらった時間となりました。その日のアサガオ日記には根

今日、先生のあさがおの根っこを見た。根っこが1000本ぐらいあった。土の中からまた新しい茎が出てきていた。根っこがぬれている。これがあさがお。

から感じたことが書かれていました。

これがアサガオ。そう実感した瞬間でした。アサガオのいのち、その力強さを感じました。